Minami Kyushu Junior College Syllabus

科目名称	グローバリゼーションと労働					英語コミュニケーション（ ） 留　学（ ） ビジネス・キャリア（必） ホテル・観光（ ） オフィス情報（ ） 医療事務・医療秘書（ ） スポーツ健康（ ） 大学編入（ ） グローバル（ ）
英文科目名称	Globalization & Labor Market					
科目コード	534106	授業形態	講義	単位数	2	
教員氏名	秋谷　公博		年次配当	2年次	前期	

授業概要及び授業方法	近年のグローバリゼーションの進展により、国家間、都市間の物的距離や社会的・制度的な距離が飛躍的に近接化していいる。それによって、経済、環境、文化、労働などの様々な事象に大きな影響を与えている。 上述したことを踏まえ、本授業では、まずグローバリゼーションが経済、資本、環境等の様々な事象についてどのような影響を与えているかについてそれぞれのテーマを取り上げることで、グローバリゼーションの特質について見ていく。 次に、グローバリゼーションの進展と「労働」との関係について見ていくことで、労働市場や労働形態がどのように変容しているか、又はどの様な課題が表面化しているか等の点について理解することで、自らそれを解決するための方策が導き出せるような思考力を養っていく。		
関連する科目	社会学、社会学概論、現代社会論、	学習成果との関係	①,②,③,⑤,⑥
授業計画	1．オリエンテーション：授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明 2．グローバリゼーションについて考える 3．グローバリゼーションと経済 4．グローバリゼーションと資本 5．グローバリゼーションと環境 6．グローバリゼーションと健康 7．グローバリゼーションと文化 8．グローバリゼーションとNGO 9．グローバリゼーションと移民 10．労働について考える 11．労働市場と非正規雇用 12．労働市場と女性の労働 13．国際労働移動と外国人労働者 14．国際労働移動と技能実習生 15．まとめ：グローバリゼーションと労働		
授業時間外の学習	予習は必ずしも必要ではないが、毎回授業内容を理解していないと次の授業の内容が理解できなくなってしまう。その為、復習は必ず30分程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにしておくこと。		
授業の到達目標	①グローバリゼーションの特質に関する基礎的な知識を身につける。 ②グローバリゼーションの進展による労働市場や労働形態の変容などについて理解することが出来る。 ③グローバリゼーションの進展によってもたらされる様々な課題について自分で改善策を導き出せる思考力を養える。		
課題に対するフィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。	評価方法	①ミニレポート（30%）、②授業態度及び授業への貢献度（10%）期末テスト（60%）で算出する。
テキスト	本講義は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら講義を進めていく。		
参考書	適宜授業で紹介する。		
備考	特になし。		